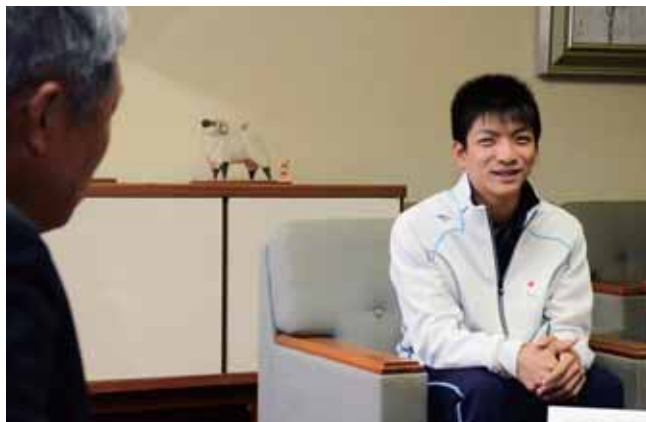


## ● Photo sketch ●



### 10/1 白く輝く歯 いつまでも大切に

歯の優良児童審査会が保健センターで行われ、市内8つの小学校から男女1人ずつ選ばれた6年生16人が参加しました。歯の状態や歯並び、歯のかみ合わせ、磨き残しの有無などを歯科医師が審査した結果、最優秀賞には、安藤虎二郎さん(下石小)と加知遥翔さん(土岐津小)が選ばれました。



### 10/9 世界の舞台へ大きく羽ばたけ

10月22日からカタール・ドーハで開催される障がい者の世界大会、IPC2015陸上競技世界選手権大会に出場する山路竣哉さん(土岐津町)の激励会が行われました。山路さんは、7月に大阪で行われた日本選手権に出場し、100メートル・200メートル(視覚障がい)の両種目で日本記録を更新し、世界大会への切符を手に入れました。山路さんは「日本記録の更新を狙い、パラリンピック出場につなげたい。これまでの努力の成果を発揮したい」と意気込みを語りました。



### 10/14 保護司特別功労章を受章

長年、保護司の活動に従事した功績などにより、保護司特別功労章を法務大臣より受章された金津保さん(泉町)が、その報告に市役所を訪れました。金津さんは平成元年から平成27年まで保護司を務め、県連合会会長や全国保護司連盟理事などを歴任されました。金津さんは「罪を償い立ち直ろうとする人にとって大切なのは仕事があること。保護司を退任したが、今後も就労支援活動などに尽力したい」と話してくれました。



### 10/16 頼もしいお兄さん・お姉さん

泉西小学校で園児との交流会が開かれ、4年生児童43人と、同校附属幼稚園と久尻保育園の5歳児合わせて44人が参加しました。児童らが約2週間前から準備した段ボール迷路やトンネルと一緒に遊んだり、ドッジボールを楽しんだりしました。

児童らは手を添えて遊び方を優しく教えるなど、来年、新1年生として入学してくる園児らを、頼もしい様子でリードしていました。

### 10/3 迫力の手作り演奏会

文化プラザ・サンホールで第25回ブラスの集いが開催されました。ブラスの集いとは、市内の中学校4校と高校2校の吹奏楽部の生徒たちが、企画から当日の運営・発表までを自分たちで行う手作りの演奏会です。各校の思いの込もった演奏や、6校合同で結成されたバンドの迫力ある演奏が披露され、市内外から訪れた600人を超える観客を楽しませました。



①3年生合同バンド  
②土岐商業高等学校  
③西陵中学校



約160チーム470人が参加。鹿児島県からの参加者も。

### 10/4 スポーツしながら観光する

土岐市で初開催となるスポーツイベント「フォトロゲイニングNIPPON」が、テラスゲート土岐をスタート・ゴール地点として行われました。乗り物は使わず自分の足のみで市内のほぼ全域に設定されたチェックポイントを回り、記念写真を撮ることによって得点が加算されます。5時間の制限時間内を最後まで走り続けるチームもあれば、楽しみながら観光名所をゆっくり見て回るチームもあるなど、参加者は自分たちの楽しみ方で土岐市を満喫しました。

1位のチームは、織部ヒルズや稚児岩大橋、八幡神社(妻木町)、五斗時スマートICなど31カ所を回ったとのこと。

